

第 1 回整備等部会での検討状況

第 1 回整備等部会の報告

■日時：平成 28 年 7 月 22 日（金） 16:00～18:00

■場所：大阪府庁 特別会議室大

■議事 （1）会場について

- ・会場要件等について
- ・過去の開催地について
- ・会場候補地（7か所）の概要について

（2）その他

- ・会場整備のあり方について
- ・府域への広がりや関西各府県との連携方法について

■概要

（1）会場選定にあたってのポイント

○集客力の確保

- ・海外からのアクセスは重要。会場は国際空港と都心の間がグローバルスタンダード。
- ・パークアンドライドの駐車場は会場からできる限り近くに。

○事業費の低減

- ・丘陵地は余計なコストが発生、自然破壊にもなる。
- ・地形も重要で、長細い形状は移動に時間要。
- ・臨海地区の埋め立て地が一番良い。

○環境配慮

- ・希少生物が発生している場所は絶対に避けるべき。
- ・府内は緑が少ないため、市内の緑地を壊すのは反対される。開催テーマ案である健康長寿ならば、緑が必要。暑さ対策として緑を思わせる会場が良い。

（2）将来の成長に向けたビジョンとの連携

- 臨海部の夢洲・舞洲でどのようなアクセスを作るかが大事。開催後も見据えてインフラを含めたまちづくりをどう考えるのかが重要。
- 大阪・関西が抱えるインフラ課題の整備機会とすべき。ウォーターフロント開発とリンクさせるべき。
- 家族が楽しめる I R は万博と親和性が高い。埋立てや I R との整合など、夢洲で開催できるのか早く説明してほしい。

（3）その他

- 国の施策（健康医療戦略）との連携により、オールジャパンでの仕掛けづくりを行うべき。
- 大阪だけでなく関西で行うべき。会場構成としては分散開催ができないとしても、主催者としては関西で。事業費を考える中では、「なぜ大阪で」という声になるため、大阪だけでなく、関西にメリットがあるとすべき。

■次回部会の予定

第 2 回部会（8 月 12 日）は開催候補地（複数箇所）の視察と併せて実施